

入居型高齢者施設における 日常的な入居者介助のための感染対策手順書

(第1版) 2020年9月27日

■ はじめに

私たちの研究班（採択年度：2018年度，事業名：長寿・障害総合研究事業，研究期間：2018年4月-2021年3月，課題名：長期滞在型高齢者福祉施設における効率的な感染対策プログラムの開発，研究代表者：笹原鉄平）では，介護老人保健施設や特別養護老人ホームをはじめとした，入居型高齢者施設での研究結果を生かし，現場における感染対策上の問題点や，頂いたニーズを参考として本手順書を作成いたしました。

各施設でも感染対策マニュアルは整備されているものの，医療的な内容が中心として作成されているものが多く，日常の介護行為における感染対策についてどうすべきかまでカバーされていないことが多いのではないのでしょうか。本手順書は，厚生労働省から出されている「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版（2019年3月）」をはじめとした既存の良質なマニュアルの考え方に基づいて，高齢者施設の実際の状況・現状に合わせてさらに感染対策を考慮した行動手順についてまとめたもので，日常的な入居者介助業務に焦点を当てて作成いたしました。作成の過程では，高齢者施設の現場のスタッフなどへのヒアリングを行いながら，単なる理想論のマニュアル，非現実的で守られないルール，とならないように注意しました。一方で，入居者・施設スタッフの安全を守るために「ここまでは頑張ってもらいたい」という事項については，やや厳しく作った部分もあります。したがって，まずは本手順書を参考に各施設で目標を立て，感染対策レベルアップに繋げて頂ければと思います。施設ごとの特性に合わせた，施設オリジナルの感染対策マニュアル作成にも本手順書を役立てて頂けると幸いです。

昨今話題となっている新型コロナウイルス感染症の出現のように，感染症の世界は常に目まぐるしく動く特徴があります。この手順書は発展途上であり，これからもより良いものに成長させていきたいので，皆様に様々な意見を頂きたいと思っておりますので，よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症で不安に思われていることと思いますが，基本的な感染対策が地道にできている施設は感染症に強い施設と言えます。新型コロナウイルス感染症対策でも，一番大切なのは日常的な基本的な感染対策です。本手順書が「感染症に強い施設づくり」にお役立て頂けましたら幸いです。

■ 手順書の使い方

現場で閲覧しやすいように，感染対策のテーマ・日常介助業務内容ごとに手順書を作成しました。基本的に「1. 全体のポイント」「2. 施設管理者・感染対策担当者に気をつけて頂きたい点や教育啓発」「3. 現場スタッフ向けの感染対策手順」の3パートで構成されています。今回，我々が強く感じたことは，「高齢者施設での感染対策の理想・あるべき姿」というのがあっても，現実的にはなかなか実施が難しく，病院では当たり前に行っていることが，高齢者施設では人員・予算の関係からも困難なことが少なくないことです。施設だけでなく，社会の仕組みを変えていく必要性にも気付きました。そのような制限の中で，実施できる感染対策の程度には施設間で大きな差がある可能性もあります。そこで本手順書では各項目に目標値を設定し，

1. 「入居者とスタッフを守るために絶対に守って頂きたいこと」 **守る！**
2. 「施設の状況に合わせ，最終的には目標として努力して頂きたいこと」 **目標**
3. 「医療機関の感染対策としては許容されない内容であるが，施設によって行う次善策（目標を目指す）」 **次善策**
4. 「絶対にやってはいけないこと」 **ダメ！**

の4つのカテゴリーを作りました。全ての施設が**守る!**の項目をクリアできるよう本手順書を活用頂ければと思います。また本手順書は、新型コロナウイルス感染症が流行している状況を考慮して作成致しましたが、新型コロナウイルス感染症については日々情報が更新されております。時期を見て随時改訂を行って参りたいと思います。

■ 手順書に関する質問やご意見

本手順書は、ホームページに随時改訂版を更新していきます。質問やご意見も頂ければ幸いです。また、施設の方だけでなく、インфекション・コントロール・ナース（ICN）をはじめとする感染対策専門家の方々におかれましても、アドバイスや、より良い方法などの情報提供を是非頂ければと思います。高齢者施設の感染対策については、科学的エビデンスも少ないため、何が正しいのか手探りの部分が多くあります。多くの意見や指導を頂きながら、高齢者施設の感染対策がより良いものとなるように、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

■ 「長期滞在型高齢者福祉施設における効率的な感染対策プログラムの開発」班

代表研究者：笹原鉄平（自治医科大学・臨床感染症学部門・感染対策専門家）

分担研究者：阿江竜介（自治医科大学・公衆衛生学部門・高齢者医療専門家）

分担研究者：畠山修司（自治医科大学・総合診療部門・感染症診療専門家）

分担研究者：崔龍洙（自治医科大学・細菌学部門・微生物学専門家）

分担研究者：浜端賢次（自治医科大学・老年看護学・高齢者施設専門家）

■ 作成協力（敬称略・五十音順）

公益社団法人 全国老人福祉施設協議会

・

秋根大（自治医科大学）

大武幸絵（介護老人保健施設エスペラル東淀川）

大西尚子（社会医療法人美杉会男山病院）

岡森景子（医療法人医誠会）

下間正隆（日本赤十字豊田看護大学）

菅原えりさ（東京医療保健大学・日本環境感染学会理事）

鈴木久美子（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院）

田中好子（自治医科大学附属病院）

三浦太郎（特別養護老人ホーム美郷）

三浦利恵子（社会医療法人美杉会佐藤病院）

森澤雄司（自治医科大学附属病院・日本環境感染学会理事）

吉村章（医療法人山育会）

※この手順書は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の研究助成を受けて作成したものです。

採択年度：2018年度 事業名：長寿・障害総合研究事業 研究期間：2018年4月—2021年3月

課題名：長期滞在型高齢者福祉施設における効率的な感染対策プログラムの開発 研究代表者：笹原鉄平（自治医科大学）